

あれみゆう

2022 冬
VOL.

63

季刊誌あれみゆう
マスコットキャラクター
「みゆう」



p1 いのちと向き合う現場より②
精神科で患者さんの歯を守る

p4 【コラム】
・病棟プログラムのご紹介
・院内図書館のご紹介

p5 訪問看護ステーション ラパン
おかげさまで5周年を迎えました

p6 あれみゆうレシピ！
「ほうじ茶パンナコッタ」

表紙イラスト：うらつかりょうま

あれみゆう 2022 年 冬 VOL.63

発行／医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院 〒004-0839 札幌市清田区真栄 319 TEL.011-884-6878 (代表) FAX.011-884-6731 <http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp>



医療法人五風会
さっぽろ香雪病院
精神科・内科・心療内科・歯科

基本理念

わたしたちは深い愛と思いやりの心で潤いのある医療を大切にします。

わたしたちはチーム医療を実践し、より専門性を究め良質で適正な医療を提供します。
わたしたちは社会の平和を願い奉仕の精神で地域社会に開かれた病院づくりをめざします。

基本方針

さっぽろ香雪病院は、患者さまの人権を尊重するとともに、ご家族、並びに地域の皆様に安心してご利用いただける医療サービスを提供し、高度な知識と技術の習得に努め、良質な医療の実践をめざします。



〒004-0839 札幌市清田区真栄319番地
TEL.011-884-6878 FAX.011-884-6731
[URL]<http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp>



〈アクセス〉 ■ 地下鉄東豊線「福住」駅下車
福住バスターミナルより 中央バス（福87）「香雪病院前」下車
■ 地下鉄東西線「大谷地」駅下車 車で約20分
大谷地バスターミナルより 中央バス（大88）「真栄3条2丁目」下車乗換
中央バス（福87）「香雪病院前」下車
■ 駐車場 120台

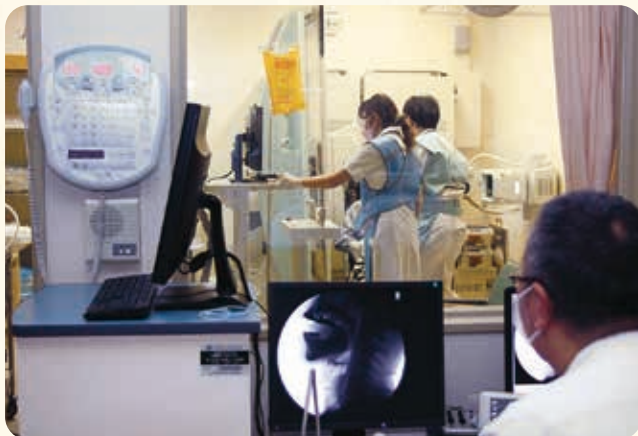
送迎バス

地下鉄大谷地駅、福住駅から無料送迎バスがあります。
詳しくはホームページをご覧ください。
(<http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp/>)

関連事業所

- 1 福住メンタルクリニック・デイケアクルール
〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目1-20 メーブル福住ビル3階
TEL.011-853-1889 FAX.011-856-2030
- 2 訪問看護ステーション ラパン
〒004-0839 札幌市清田区真栄328
TEL.011-375-7515 FAX.011-375-7525
- 3 札幌市障がい者相談支援事業所 相談室きよサポ
〒003-0022 札幌市白石区南郷通14丁目南4-8 キャッスル大木戸1階
TEL.011-860-1750 FAX.011-860-1760
- 4 ケアプランセンター
〒004-0839 札幌市清田区真栄323
・相談支援事業所 相談室りっか
TEL.011-802-6880 FAX.011-802-6881
・居宅介護支援事業所 セラヴィ
TEL.011-887-6355 FAX.011-887-6356
- 5 ワークサポート・プティパ
〒004-0873 札幌市清田区平岡3条1丁目2-5
TEL.011-887-5111 FAX.011-887-5112
- 6 グループホーム イエール福住
〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条1丁目2-8 セントラルステート福住 内
TEL.011-827-7532 FAX.011-827-7531

- 7 ケアホーム イエール真栄
〒004-0836 札幌市清田区真栄6条1丁目1-1
TEL.011-885-6400 FAX.011-885-4000
- 8 住宅型有料老人ホーム パティオ真栄
〒004-0836 札幌市清田区真栄6条1丁目1-1
TEL.011-885-0100 FAX.011-885-1800
- 9 高齢者支援複合施設 美しが丘テラス
〒004-0813 札幌市清田区美しが丘3条8丁目2-1
TEL.011-887-6311 FAX.011-887-6340
・サービス付き高齢者向け住宅
TEL.011-887-6311 FAX.011-887-6340
・訪問介護ステーション 美しが丘テラス
TEL.011-887-6830 FAX.011-887-6340
・デイサービスセンター 美しが丘テラス
TEL.011-887-6876 FAX.011-887-6340
・小規模多機能ホーム 美しが丘テラス
TEL.011-887-6781 FAX.011-887-6340



嚙下造影検査の様子



嚙下造影検査の様子



医療法人社団五風会
さっぽろ香雪病院

歯科

〒004-0839
札幌市清田区真栄319
TEL:011-884-6878(代表)
TEL:011-884-6731

・診療時間
平日 9:00~17:00
・休日 土・日・祝日
・スタッフ 歯科医師・・・1名
歯科衛生士・・・1名

いのちと向き合う現場より② 精神科で患者さんの歯を守る



多職種カンファレンス



治療風景

当院の歯科は、開設と同時期に併設され、常勤歯科医師1名、歯科衛生士1名で現在入院患者さんの他に外来通院、デイケア通所の患者さんを1日17人ほど診療しています。歯科治療を希望される患者さんや病棟スタッフが、治療の必要性があると思っただけ入院患者さんに対して「歯科受診連絡票」を用い、事前に病棟、デイケアスタッフの間で予約と治療の大まかな内容のやり取りを行っています。

当科は一般歯科診療を行っており、難しい親知らずの抜歯、口腔内の腫瘍疑い、また嘔吐反射が強く治療が困難な患者さんは口腔外科に紹介し、静脈内鎮静法（点滴で薬剤を注射し半分眠った状態で治療を行う方法）で治療を行う場合もあります。

精神科病棟の 歯科治療とは

患者さんは統合失調症、認知症の方が多く、統合失調症の患者さんの多くは病識があり一般患者さんと変わりなく治療できますが、大きな虫歯があり治療の必要性を説明しても「これは生まれつきだからこのままでいい」「口の中全体が痛いというので診てみると歯磨きのしすぎで歯肉が傷だらけになっていたので歯ブラシの指導をしたところ」「こんな弱い力じゃ磨いた気にならないからできない!」、幻聴に「口が臭いと言われているので何とかしてほしい」等、思いもよらない言動や反応をする患者さんに戸惑うこともあります。

ます。そのような患者さんに対しては、訴えの受容的な傾聴を心がけ、精査に基づきわかりやすく何度も説明し納得してもらったうえで治療を進めていくようにしています。また高血圧、心疾患、糖尿病等の全身疾患、抗血栓薬や骨粗しょう症治療などに用いるB.P.製剤服用中の患者さんも多いので、治療を始める前に病状を把握し不明な点は主治医や病棟スタッフに確認を取るなどして安全な治療を心がけています。

受診される患者さんの口腔内を診ると口腔清掃状態の良くない人が多いと感じます。うつ状態が長く続くと口腔ケアが不十分となり清掃状態が急激に悪化することもありますし、統合失調症の患者さんは陰性症状に薬

掃やブラッシング指導を行い、寝たきりや診療室に来るのが困難な患者さんにおいてはこちらから病棟に向き口腔内清掃の他に虫歯や動揺歯の有無を確認しています。

嚙下トラブルへの 取り組み

当院の検査室にはX線透視装置が設置されており歯科では医師、看護師、管理栄養士、放射線技師と連携して3年前よりVF（嚙下造影検査）を行っています。厚労省の死亡原因によると肺炎は2017年より3位から5位と下がりましたが、項目に誤嚥性肺炎が追加され6

位となっております。7位の不慮の事故の内訳の1位は窒息であることから、誤嚥性肺炎と共に発生には摂食嚥下障害が関わっていると考えられます。VFは食形態を上げたい、食事中にむせる、誤嚥性肺炎を繰り返す患者さんに対し、造影剤を含んだ食品を食べてもらい食塊の動態や舌・咽頭などの状態、運動等をX線透視下で観察評価。経口摂取が可能かどうかの判断や安全に食べるための条件を見つけていくことができ、実際に当院の入院患者さんが検査後に病棟スタッフ協力のもと嚙下訓練を行った結果食形態を上げることができた例があります。

昨今、口腔と全身の健康における関連性が解明され、口腔ケ

アの効果として誤嚥性肺炎予防、認知症予防、脳の活性化などが明らかになり、病棟スタッフは忙しい業務の中患者さんの口腔ケアに取り組んでいます。しかし精神疾患や認知症の患者さんは虫歯や重度の歯周病、歯の喪失など口腔状態が重篤になると病棟スタッフだけでは限界があり、歯科が介入することでのう蝕処置、抜歯、義歯作成などの必要な治療を行い、また院内にあることでタイムリーな急患対応も可能となります。院内所属の歯科として今後も多職種のスタッフと連携し患者さんの口腔の健康回復・維持・増進を図り、咀嚼・嚥下機能の改善に努めていきたいと思っています。

歯科医師 野田 順子



院内図書館のご紹介

当

院には入院患者さん向けの図書コーナーが作業療法室の一角にあります。置いてある書物は患者さんや職員からの寄贈図書が多く、小説や漫画、雑誌、絵本と幅広くそろえています。

本の貸し出しを楽しみにしている方は多く、貸し出し時間の16時から入口の前で待っている日もあります。中には図書館まで来ることが難しい方もいるため、そういった場合は借りた本のリストから選んで本を借りることも出来ます。新刊が読みたい、違う本もあったら嬉しい、といったお声もあるため、定期的に本の入れ替えも行っています。入院期間の間に様々な本をお手に取っていただけたらと思います。

編集者お勧めの本

「チーズはどこへ消えた？」 Who Moved My Cheese?

著：スペンサー・ジョンソン / Spencer Johnson, M.D.



世界中でベストセラーとなったこの本。2016年大谷翔平選手が愛読しているとインタビューで答えてから日本でも400万部以上のベストセラーとなりました。

2匹のネズミと2人の小人がチーズを探す童話のようなお話ですが、登場する小人は私たち人間の習性や心情と相重なり、さまざまな葛藤の中で学びを得ながら進む共感あふれるストーリーです。安住の地チーズステーションのチーズがなくなったことをきっかけに、すぐにチーズを探しに行くネズミ。小人は知恵あるが故に現状を受け入れず、分析し執着し変化を恐れますが、1人の小人が恐れを抱きながらも新たな場所へ走り出す。そこで得たものはチーズを見つけられた以上に素晴らしい宝物の数々でした。このご時勢だからこそ、明るい将来をイメージして今を喜んで生きていきたい。そんな思いになれる、元気が持てる1冊です。

院内図書館

- 蔵書.....約1,600冊
- 貸出し...月~金 16:00~16:30
- 貸出し期間...2週間 1人5冊まで



また例年行っていた「新年祭り」は、出張版香雪神社を作成し、各

病棟に出向き患者さんにお参りしていただくというスタイルに生まれ変わりました。鳥居の前のお賽銭箱にコインを入れて鈴を鳴らし、二礼二拍手一礼。他にも、おみくじや絵馬も用意し、記入した絵馬は、厚別(あしりべつ)神社のどんと焼きでお焚き上げしていただきました。

コロナ禍の中、2021年から新たに立ち上げたプログラム「陽だまりクラブ」では、コロナ禍で外出の機会を失った患者さんに少しでも病棟外に出て、外の風景や風、匂い等、自然を感じ活動性をあげていただく目的で誕生しました。季節感を感じ気分転換の一助となるよう、患者さんにご参加いただいております。

まだまだコロナ禍が収まらない状況ですが、今後も患者さんに少しでも楽しみながら役に立つようなプログラムを運営していきたいです。



ほうじ茶パンナコッタ

サッパリした味わいに、ほんのりほうじ茶の香りが
お口いっぱいに広がります。

みゅうちゃんオススメ!

あれみゅう レシピ!

材料 (グラス3個分)

・牛乳	200g
・板ゼラチン	5g
・生クリーム (35%)	150g
・グラニュー糖	35g
・ほうじ茶の茶葉	6g

栄養

カロリー (1人分) 約181kcal

ワンポイントアドバイス

ぐらぐら沸かないような火加減で
煮出し、全体が薄茶色になったら
火を止め、余熱で濃く抽出します。

レシピ提供



カフェ ラ・ベルコリーヌ

札幌市清田区美しが丘3条8丁目2-1
 開店時間 11:00~18:00
 (ラストオーダー 17:30)
 但し、当面の間
 11:00~14:00
 (ラストオーダー 13:30)
 美しが丘テラス入居者タイム
 14:30~18:00
 定休日 日曜・祝日
 ※本曜を入居者のみ利用とすることが
 あります。facebookでご確認下さい。
 TEL:011-886-3303

作り方

下準備



- 板ゼラチンは氷水につけてふやかす。
※常温の水を使うとゼラチンが溶けはじめてしまいます。
- ほうじ茶の茶葉はお茶パックに入れる。



鍋に牛乳とグラニュー糖を入れ中
火にかけてひと混ぜし、準備した
お茶パックを入れて濃く煮出す。そ
の後、お茶パックを取り除いてミル
クティーをボウルに移す。



ふやかしたゼラチンの水気を絞り、①に加える。ゴムベラで混ぜて
ゼラチンを完全に溶かす。



ボウルを氷水に当て生クリームを加え
てとろみがつくまで混ぜながら冷やす。



グラスに流し入れて冷蔵庫で冷やし
固める。



高齢者支援複合施設 美しが丘テラスに併設
するカフェ。無農薬野菜とワンプレートランチ、
パキスタンカレーが人気です

訪問看護ステーション ラパン



平成28年10月1日に「訪問看護ステーションラパン 清田区役所前」としてオープン。令和1年5月には、本院隣接地に移転。新たに「訪問看護ステーションラパン」となりました。利用者や地域のために跳躍し、互いに発展していきたいと言いつつ思いで命名された「ラパン」(フランス語でウサギの意味)。5年間でたくさんの方々に支えていただき、地域に根差した訪問看護ステーションになってきたと自負しています。法人関係の利用者以外にも、他の医療機関、また地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、相談支援事業所など様々な事業所から相談、依頼があります。困難事例は、ラパンにお願いし

たいと指名がはいることも多くなってきました。利用者の疾患や特性を十分に把握し、その人らしい生活を支えるために、私たちで出来ることは何かを常に考えながら一つ一つのケースを大事に対応してきました。

コロナ禍であっても

一昨年から新型コロナウイルスにより、フェイスシールド着用やアルコール消毒は日常的となり、利用者の体調の確認や感染対策の指導に注意を払う毎日です。

そんな中でも訪問看護は第一線として業務を継続しなければならず、訪問先では医療職として頼りにされることも多々あります。そういった中でも私たちは安心、安全を届け、訪問看護の歩みが続けてきました。感染対策に留意しながらも心のこもった対応を心がけています。

つながりを大切に

コロナ禍であっても、人とのつながりは大切だと感じました。対面での面会や会議が持ちにくい状況とはなりましたが、電話、メール連絡を増やし、zoomでの会議などが活発になり、関連事業所ときめ細やかな連携は続けることが出来ました。

人とのつながりが次の新しい出会いにつながり、私たちのやりがいにつながると、改めて5年間を振り返ったときに、このように強く思いました。

今後このつながりを大事にしながら、利用者、事業所、関わってくれる全ての方々に感謝の気持ちを忘れず、ラパンと出会えてよかったと言ってもらえる事業所になるように今後も努めていきたいと思えます。

訪問看護ステーションラパン
 管理者・看護師長 神田聡美



訪問看護ステーション ラパン

〒004-0839
 札幌市清田区真栄328
 TEL.011-375-7515
 FAX.011-375-7525
 【月～金】9:00～17:00(緊急時は24時間対応)



職員構成

・看護師.....11名
 ・准看護師.....2名
 ・作業療法士.....1名
 ・精神保健福祉士.....1名